

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 333 (通算 664 回)

2016 年 12 月 13 日 (火)

政策ポートフォリオの構築と実績——

大学資産運用管理における成功事例に学ぶ Ⅲ

高等教育活性化シリーズ 340 (通算 671 回)

2017 年 1 月 19 日 (木)

経済格差社会の学生支援——

授業料軽減・奨学金施策の新展開

政策ポートフォリオの構築と実績——

大学資産運用管理における成功事例に学ぶ Ⅲ

～リーマンショック、世界金融危機、ギリシャ危機に打ち勝ち、マイナス金利にも負けないノウハウ～

- ※ “政策ポートフォリオ”の導入から 8 年 7 カ月余～検証と有効性／アベノ・クロダノミクスの恩恵と弊害
- ※ 今後の今後の市場環境と運用管理方針の留意点／米国コモンファンドとわが国の大学運用の誤解と留意点とは
- ※ 資金運用の PDCA の「点検・評価」のポイント／過去実績・ポートフォリオ割合の点検／第三者評価

● 講 師 ●

梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシャリー (株) 代表取締役
公益法人資金運用管理コンサルタント
非営利法人資金運用研究会 事務局長

2016 年 12 月 13 日 (火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

経済格差社会の学生支援——

授業料軽減・奨学金施策の新展開

～公的支援の拡充／学籍管理料・単位従量制／留学・休学時への対応策～

- ※ 社会経済的格差と教育格差／教育費負担の現状と軽減策／奨学金制度の改革と拡充
- ※ 奨学金政策の動向～拡充と新規／給付型奨学金の設計／新所得連動返還型奨学金制度の創設
- ※ [TDU] “単位従量制”授業料のメリット／情報環境学部での先進的取組みと今後
- ※ [上智大] “在籍料”の導入と効果／大学院学費値下げ／奨学金戦略転換／奨学金基金の拡充と運用

● 講 師 陣 ●

小林 雅之氏 / (国) 東京大学 大学総合教育研究センター 教授
所得連動返還型奨学金制度有識者会議 主査
八島 崇氏 / 文部科学省 高等教育局 学生・留学生課 課長補佐 育英奨学専門官
土肥 紳一氏 / 東京電機大学 情報環境学部 教授
大日方清剛氏 / (学) 上智学院 財務局長

2017 年 1 月 19 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 333 大学資産運用管理における成功事例に学ぶ Ⅲ
2016年12月13日(火) 13:00~16:50

会場：日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 340 授業料軽減・奨学金施策の新展開
2017年1月19日(木) 10:00~16:50

会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名(資料代を含む)	メディア参加(資料及び音声CD)
高等教育活性化シリーズ 333 大学資産運用管理における成功事例に学ぶⅢ	50,000円(税込) 資金運用研究会員 30,000円(税込)	51,000円(税、送料込) 会員 31,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 340 授業料軽減・奨学金施策の新展開	40,000円(税込) 高等教育同人 20,000円(税込)	41,000円(税、送料込) 同人 20,000円(税、送料込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 333
大学資産運用管理における成功事例に学ぶ Ⅲ
- 高等教育活性化シリーズ 340
授業料軽減・奨学金施策の新展開

(□に✓印を入れてください)

- 一般 会員
- 当日参加 メディア参加
- 一般 同人
- 当日参加 メディア参加
- 支払方法 当日払い 銀行振込 郵便振替
- 必要書類 請求書 見積書

勤務先

〒

連絡部課・担当者名

所在地

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

大学資産運用管理における成功事例に学ぶ Ⅲ

～リーマンショック、世界金融危機、ギリシャ危機に打ち勝ち、マイナス金利にも負けない～

講師 インディペンデント・フィデューシャリー 梅本 洋一

本セミナーは3年前に紹介した大学の事例紹介の続編である。前回は、リーマンショック、世界金融危機、ギリシャ危機に打ち勝ってきた大学資産運用の取組みと実績を紹介した。そして今回は、その後のマイナス金利にも負けない対応を実施する同大学の運用管理事例の続編である。

これまで、資産運用の成功事例は沢山紹介されてきたが、それらのほとんどが、運用環境や担当者の個別判断などの要素が非常に大きく、「真似ができない」「再現性に乏しい」ものであった。

そこで、今般の事例は、「誰でも、どの大学でも実行できる」、「どんな運用環境でも(相当厳しい運用環境に遭遇しても)、効果の再現可能性が高い」ということに最大限配慮されている。

現下のマイナス金利に対してどのような施策を講じているのか。資産運用開始からリーマンショック以降、現在まで、整然と運用管理を成してきたかを具体的に時系列で追いつつ、その強固な運用管理ノウハウ、コンサルタントの知識と経験を皆様と共有したい。

最後に、今後の本邦大学資産運用を取り巻く環境、米国コモンファンドと本邦大学資産運用における誤解と留意点そして、資産運用の「点検・評価」の要点についても整理してみたい。

時間	講義内容
13:00 }	<p>1. 資産運用管理事例</p> <p>(1) 金融危機前夜 (2008年3月～6月) 政策ポートフォリオの導入と運用開始</p> <p>1) 大学資産運用の構造的問題 2) 専門家のアドバイス</p> <p>3) 政策ポートフォリオとは? その内容は? ・自家(自前)運用主義との妥協点</p> <p>4) 投資方針書(IPS=Investment Policy Statement)の準備 5) 理事説明</p> <p>(2) リーマンショック (2008年9月～10月)</p> <p>1) 政策ポートフォリオのモニター 2) 時価下落時の対応</p> <p>(3) 世界金融危機 (2008年10月～2009年3月)</p> <p>1) 政策ポートフォリオのリバランスとは? 2) 投資方針の見直し、マイナーチェンジ</p> <p>3) 学校法人会計、決算との妥協点 4) なぜ、損失を出さずに最悪期を乗り切れたのか?</p> <p>(4) 次の展開に備える (2009年5月～8月)</p> <p>1) 収益と持続性を高める工夫 2) 政策ポートフォリオの強化・改善1</p> <p>3) 学内コミュニケーション</p>
14:40	<p>(5) ギリシャ危機 (2010年夏～秋)</p> <p>1) 政策ポートフォリオの強化・改善2</p> <p>(6) 東日本大震災 (2011年3月)</p> <p>1) 政策ポートフォリオの状況 2) 東日本大震災の教訓</p> <p>(7) ソブリンショックと欧州危機その1 (2011年夏～秋)</p> <p>1) 米国国債格下げとそれに続く欧州危機と政策ポートフォリオの状況</p> <p>(8) 欧州危機その2 (2012年5月)</p> <p>(9) アベノミクスとクロダノミクスの恩恵と弊害 (2013年4月～現在)</p> <p>1) 円安株高の恩恵とポートフォリオのリバランス</p> <p>2) 中国危機、円高、株安に対する対応策の実施</p> <p>3) 債券価格上昇＝債券利回り急低下の弊害、そしてマイナス金利へ</p> <p>4) 債券利回り急低下、マイナス金利に対する対応策の実施～為替ヘッジ外債 (質疑応答)</p>
14:50 }	<p>2. 今後の本邦大学資産運用を取り巻く環境と留意点</p> <p>(1) 今後の市場環境と運用管理方針</p> <p>1) これまでの運用管理の総括～幾多の最悪の危機をのりこえて</p> <p>2) 今後の市場環境と運用管理方針の留意点</p> <p>3) 本邦学校法人資産運用における限界、制約との妥協点を探りながら学んだこと。</p> <p>・変えなくても良い点</p> <p>・変えざるを得ない点</p> <p>(2) 米国コモンファンドと今後の本邦大学資産運用の誤解と留意点についての考察 (質疑応答)</p>
16:30 }	<p>3. 資金運用の「点検・評価」の勧め</p> <p>○過去5カ年間の運用実績の点検と分析</p> <p>○ポートフォリオの投資割合の点検と分析</p> <p>○外部・第三者評価の重要性</p>
16:50	

時間	講義項目
10:00) 11:50	<p>□ 格差社会における学生への経済的支援の強化 ～授業料軽減／奨学金の拡充方策～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 小林 雅之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育機会の均等と格差 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本国憲法と教育基本法における教育の機会均等 (2) 社会経済的格差と教育の格差 (3) 地域別男女別大学進学率の推移 (4) 所得階層別大学進学率 2. 教育費の負担の現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業料と可処分所得 (2) 所得階層別学費の負担割合 (3) 教育費負担の3つの考え方 (4) 学費と放棄所得 3. 教育費負担の軽減策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 奨学金の分析軸 (2) 各国の授業料と奨学金政策 4. 日本の奨学金制度の現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 奨学金制度の現状 (2) 所得連動型奨学金返還制度 (3) 授業料減免と給付型奨学金制度 5. 政策的インプリケーション 〈質疑応答〉
12:00) 13:00	<p>□ 奨学金政策をめぐる動向 ～給付型奨学金、新所得連動返還型奨学金制度～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 八島 崇</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学等奨学金事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) ニッポン一億総活躍プラン及び経済対策 (2) 大学等奨学金事業の充実 2. 給付型奨学金の設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) 制度創設の趣旨 (2) 同世代内の公平性 (3) 給付の在り方 (4) 財源 3. 低所得世帯の生徒に係る成績基準の実質的撤廃 4. 新所得連動返還型奨学金制度の創設 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新所得連動返還型奨学金制度における返還イメージ (2) 対象とする学校種 (3) 奨学金申請時の家計支持者の所得要件 (4) 保証制度 〈質疑応答〉
14:00) 15:20	<p>□ [TDU] “単位従量型” 授業料のメリットと運用の実際 ～情報環境学部での先進的取組みと今後～</p> <p style="text-align: right;">東京電機大学 土肥 紳一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報環境学部の学費単位従量制度 <ol style="list-style-type: none"> (1) 単位従量額 (2) 学費納入の流れ (3) 学費単位従量制度の学生および教員への波及効果 (4) 卒業時における取得単位数 2. 情報環境学部の教育制度の特色 <ol style="list-style-type: none"> (1) 必修科目の廃止(事前履修条件の導入) (2) セメスター制 (3) 50分授業(週複数回の授業実施) (4) 導入教育(カリキュラム計画とワークショップ) 3. 情報環境学部の今後 <ol style="list-style-type: none"> (1) 卒業生アンケート (2) 学費単位従量制度の工学部第二部への導入 (3) キャンパス移転 (4) システムデザイン工学部の開設 〈質疑応答〉
15:30) 16:50	<p>□ [上智大] 学生・大学を取り巻く課題に対応する学費・奨学金制度の再構築 ～授業料負担軽減と学生支援の見直し／財源の安定的確保に向けて～</p> <p style="text-align: right;">上智学院 大日方清剛</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学費制度の再構築 <ol style="list-style-type: none"> (1) 在籍料の導入とその効果及び学費総収入への影響 (2) 大学院学費の大幅値下げとその効果及び収入への影響 (3) 入学定員管理の厳格化へ対応した財源の安定的確保 2. 奨学金制度の再構築 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経済的支援から優秀な学生確保へ向けた戦略の転換 (2) 奨学基金の統合による効果的な果実の活用 (3) 奨学基金の果実獲得に向けた資産運用 〈質疑応答〉